

平成二十年度入学式、始業式にあたり



財団法人ハワイ日本人学校・レインボー学園
理事会 会長 松本寿弥

いよいよ今日四月五日から、新しいレインボー学園が始まります。新入生そして進級した生徒の皆さん、入学おめでとうございます。理事の一人として、各学年の生徒にとって、これからもより一層の発展に役立てる学校形成に少しでも協力できればと考えています。理事会メンバーは、ハワイの各ビジネス方面で現在活躍している十数名の人達で構成されています。この理事会を通じて、より有効な運営と教育の現場を提供できる方法を、理事会の内外の皆さんと一緒に考え、実行に移して、レインボー学園の教育機関としての価値を、ハワイという社会の中で確保していきたいと思っています。

生徒の皆さんには、現地校とのバランスで補習校の宿題の消化などは非常に難しい、と理事会にも聞こえてきます。しかし、昨年度はなかなかできなかった宿題を今年は一回でも多くこなす事にチャレンジする生徒が、レインボー学園の生徒である事を期待しています。自分にとって苦手な事や、不得手な事はどうしても後回しになります。是非、これら自分達にとって難関と思えるターゲットにあえてチャレンジする生徒が、レインボー学園から出て欲しいと思います。

始業式の「始業」とは、「業(ゴウ)」を始めることです。この「業」とは、物事を成就させ自分の技にする事を「始める」と解釈できるのではないのでしょうか。今日の日が、皆さん一人一人異なった意味の「始業」の日になるかもしれませんが、何事においても難しい事から逃げない勇気を是非もってください。そのチャレンジ精神を持つ事がレインボー学園の生徒であり、私たちのスピリットです。

レインボー学園の存在は、皆様の総意と協力により成り立っています。そしてまた日本政府の強力な支援が、実は大きな柱となっています。この支援は資金援助のみならず校長先生の派遣、教科書の手配や配布など、それらに携わる外務省、文部科学省で働いている血の通った複数の人達の手を経た協力と好意が陰にあります。これら協力者皆様への感謝の意はもちろんのことですが、レインボー学園をより良い学校にし、その価値を高めてゆく現地側の努力を継続することもまた、その好意に報いる事と考えています。